

菊田一夫演劇賞歴代受賞者

【菊田一夫演劇賞趣旨　：　我国演劇界に偉大なる足跡を残された菊田一夫氏の業績を永く伝えるとともに、氏の念願であった演劇のための一助として、大衆演劇の舞台ですぐれた業績を示した芸術家（作家、演出家、俳優、舞台美術家、照明、効果、音楽、振付、その他のスタッフ）を表彰する。】

昭和50（1975）年度よりはじまり、授賞式は故人の命日月である4月に開催。
選定と授賞は「菊田賞選考委員会」が行ない、社団法人映画文化協会が共同主催している。

第1回　昭和50年度　（1975）

- ・演劇賞：小幡欣治　『安来節の女』『にぎにぎ』
- ・新人賞（第1回のみ）：安宅　忍　『山彦ものがたり』『真砂屋お峰』
- ・新人賞（第1回のみ）：木の実ナナ　『真夏の夜の夢』
- ・特別賞：益田喜頓
- ・特別賞：真木小太郎
- ・特別賞：大庭三郎

第2回　昭和51年度　（1976）

- ・演劇大賞（この回より設立）：森繁久彌　『屋根の上のヴァイオリン弾き』
- ・演劇賞：十朱幸代　『おしの』『おたふく物語』
- ・演劇賞：内山恵司　『千姫曼荼羅』『丙午』
- ・特別賞：宝塚歌劇団　『ベルばら』・シリーズ
- ・特別賞：パディー・ストーン　宝塚歌劇『ハッピー・トゥモロー』振付

第3回　昭和52年度　（1977）

- ・演劇賞：水谷良重　『滝の白糸』『祇園の女』
- ・演劇賞：友竹正則　『ラ・マンチャの男』『ファンタスティックス』
- ・演劇賞：清水郁子　『やどかり』『菊桜』
- ・演劇賞：大藪郁子　『ながれぶし』『紀の川』
- ・特別賞：三木のり平
- ・特別賞：織田音也

第4回　昭和53年度　（1978）

- ・演劇大賞：秋元松代　『近松心中物語』
- ・演劇賞：蜷川幸雄　『近松心中物語』
- ・演劇賞：菅原謙次　『大寺学校』『深川年増』

- ・演劇賞：淀かおる 『屋根の上のヴァイオリン弾き』
- ・演劇賞：井川比佐志 『おさん』『寒椿』

第5回 昭和54年度 (1979)

- ・演劇賞：藤間 紫 『男の紋章』『おさん茂兵衛』
- ・演劇賞：酒井光子 『おやじの女』
- ・演劇賞：横沢祐一 『草燃える』
- ・演劇賞：尾藤イサオ 『ファニー・ガール』
- ・特別賞：岩谷時子

第6回 昭和55年度 (1980)

- ・演劇大賞：長谷川一夫 『東宝歌舞伎』
- ・演劇賞：草笛光子 『和宮様御留』『女たちの忠臣蔵』
- ・演劇賞：倍賞千恵子 『屋根の上のヴァイオリン弾き』
- ・演劇賞：三津田 健 『ドレッサー』
- ・演劇賞：児玉利和 『カール物語』『一絃の琴』
- ・特別賞：佐谷 功 日劇ダンシングチーム
- ・特別賞：山本紫朗 日劇ステージ・ショウ

第7回 昭和56年度 (1981)

- ・演劇大賞：森 光子 『放浪記』
- ・演劇賞：奈良岡朋子 『放浪記』『南の風』
- ・演劇賞：鳳 蘭 『スウィニー・トッド』
- ・演劇賞：仲谷 昇 『二階の女』
- ・演劇賞：佐藤富造 『放浪記』『むかしも今も』
- ・特別賞：浜田右二郎
- ・特別賞：成田菊雄

第8回 昭和57年度 (1982)

- ・演劇大賞：山田五十鈴 『たぬき 前・後編』
- ・演劇賞：金田龍之介 『滝沢家の女たち』
- ・演劇賞：池内淳子 『おさん』
- ・演劇賞：順みつき 『キャバレー』
- ・演劇賞：丸山博一 『横浜どんたくー富貴楼おくらー』

第9回 昭和58年度 (1983)

- ・演劇大賞：佐久間良子 『唐人お吉』『松屋のお琴』の演技に対して。
- ・演劇賞：曾我廼家鶴蝶 『香華』の演技に対して。

- ・演劇賞：上月 晃 『ラ・マンチャの男』の演技に対して。
- ・演劇賞：いまむらいずみ 『エリザベス・サンダースホーム物語ーママちゃまー』の演技に対して。
- ・演劇賞：山口勝美 『たぬき 前・後編』『孤愁の岸』の演技に対して。
- ・特別賞：白井鐵造 長年の宝塚歌劇に対する貢献に対して。
- ・特別賞：島田正吾 長年にわたる舞台演技に対して。
- ・特別賞：『細雪』上演関係者一同

第10回 昭和59年度 (1984)

- ・演劇大賞：芦屋雁之助 『裸の大將放浪記』『佐渡島他吉の生涯』の演技に対して。
- ・演劇賞：淡島千景 『紅梅館おとせ』の演技に対して。
- ・演劇賞：英 太郎 『注文帳』の演技に対して。
- ・演劇賞：遙 くらら 『櫻の園』の演技に対して。
- ・演劇賞：二宮弘子 『芝櫻』の演技に対して。
- ・特別賞：東宝ゆかた会 十周年に対する努力に対して。
- ・特別賞：辻村ジュサブロー 『恐怖時代』の衣裳デザインに対して。
- ・特別賞：高木史朗 長年の宝塚歌劇に対する貢献に対して。

第11回 昭和60年度 (1985)

- ・演劇賞：八千草 薫 『女系家族』『エドの舞踏会』の演技に対して。
- ・演劇賞：堀越 真 『エドの舞踏会』の脚本に対して。
- ・演劇賞：山田芳夫 『女系家族』『お葬式』の演技に対して。
- ・演劇賞：一條久枝 『婦系図』の演技に対して。
- ・特別賞：一の宮あつ子 長年の舞台の功績に対して。
- ・特別賞：サミー・ベイス及び『屋根の上のヴァイオリン弾き』初演以来の出演者
【森繁久彌、賀原夏子、三上直也、淀かおる、坂上道之助、今村堅洗、須賀不二男、宮琢磨、高橋郁子、益田喜頓（順不同）】（初演以来20年にわたる貢献に対して。）

第12回 昭和61年度 (1986)

- ・演劇大賞：平岩弓枝 『三味線お千代』『真夜中の招待状』の脚本の成果に対して。
- ・演劇賞：井上孝雄 『遙かなり山河ー白虎隊異聞ー』の西郷頼母の役の演技に対して。
- ・演劇賞：吉田日出子 『ドタ靴はいた青空ブギー』の滝口絵梨子・ビューティー・スカイの役の演技に対して。
- ・演劇賞：藤木 孝 『ロッキー・ホラー・ショー』のフランケン・ファーター、『ブラック・コメディ』のハロルド・ゴリンジの役の演技に対して。
- ・演劇賞：巖 弘志 『三味線お千代』の石原勇太の役の演技に対して。
- ・特別賞：竹内京子 長年の舞台の功績に対して。

第13回 昭和62年度 (1987)

- ・演劇大賞：京マチ子 『黄昏』のエセル・セイヤーの役の演技に対して。
- ・演劇賞：赤木春恵 『お嫁に行きたい！！』の沢井トキ、『三婆』の武市松子の役の演技に対して。
- ・演劇賞：松山政路 『さぶ』及び『女坂』の岩本留次の役の演技に対して。
- ・演劇賞：桜田淳子 『女坂』の由美の役の演技に対して。
- ・演劇賞：青木玲子 『放浪記』の村野やす子の役の演技に対して。

第14回 昭和63年度 (1988)

- ・演劇大賞：小幡欣治 『恍惚の人』『夢の宴』の脚本の成果に対して。
- ・演劇賞：乙羽信子 『流れる』の内藤梨花、『古都憂愁』の大橋月子の役の演技に対して。
- ・演劇賞：田村高廣 『新版 香華』の桑田八郎の役の演技に対して。
- ・演劇賞：小柳ルミ子 『セイムタイム・ネクストイヤー』のドリスの役の演技に対して。
- ・演劇賞：内山恵司 『流れる』の宮脇進吉、『淀どの日記』の蒲生氏郷の役の演技に対して。
- ・特別賞：『レ・ミゼラブル』上演関係者一同。

第15回 昭和64年・平成元年度 (1989)

- ・演劇大賞：浜 木綿子 『人生は、ガタゴト列車に乗って…』の井上マスの役の演技に対して。
- ・演劇賞：大地真央 『マイ・フェア・レディ』のイライザの役の演技に対して。
- ・演劇賞：大空眞弓 『人生は、ガタゴト列車に乗って…』の秋代の役の演技に対して。
- ・演劇賞：西郷輝彦 『蘆火野』の河井準之助の役の演技に対して。
- ・演劇賞：矢吹寿子 『華岡青洲の妻』の於勝の役の演技に対して。
- ・特別賞：渡辺正男 永年の東宝演劇ならびに宝塚歌劇の舞台装置おける功績に対して。

第16回 平成2年度 (1990)

- ・演劇大賞：三木のり平 『放浪記』『雪之丞変化』の演出の成果に対して。
- ・演劇賞：新珠三千代 『細雪』の幸子、『真夜中の招待状』のエドワード夫人の役の演技に対して。
- ・演劇賞：波乃久里子 『大つごもり』のみね、『遊女夕霧』の夕霧の役の演技に対して。
- ・演劇賞：伊東四朗 『雪之丞変化』の闇太郎の役の演技に対して。
- ・演劇賞：三上直也 『栄花物語』の佐野善左衛門、『松のや露八』の三条実美の役の演技に対して。
- ・特別賞：『放浪記』初演以来の出演者【森光子、小鹿番、青木玲子、児玉利和、佐藤富造、高橋郁子（順不同）】 初演以来、1, 116回わたる貢献に対して。

第17回 平成3年度 (1991)

- ・演劇大賞：藤間 紫 『瀬東綺譚』のお玉の役の演技に対して。
- ・演劇賞：三田和代 『がめつい奴』の小山田初枝の演技に対して。
- ・演劇賞：富田恵子 『女三の宮』の小侍従、『芝櫻』のおせいの役の演技に対して。
- ・演劇賞：小池修一郎 『華麗なるギャツビー』の脚本、演出の成果に対して。
- ・演劇賞：今井清隆 『レ・ミゼラブル』のジャベールの役の演技に対して。
- ・特別賞：丸山 弘 永年の小道具の製作、ならびに公演における功績に対して。

第18回 平成4年度 (1992)

- ・演劇大賞：市村正親 『ミス・サイゴン』のエンジニアの役の演技に対して。
- ・演劇賞：山岡久乃 『流水橋』の新藤かねの役の演技に対して。
- ・演劇賞：山本 學 『雁金屋草紙』の市之丞、『晩菊』の板谷の役の演技に対して。
- ・演劇賞：剣 幸 『蜘蛛の巣』のクラリサの役の演技に対して。
- ・演劇賞：杜けあき 『ヴァレンチノ』及び、『忠臣蔵』の大石内蔵助の役の演技に対して。
- ・特別賞：今井直次 永年の舞台照明における功績に対して。
- ・特別賞：阿部米子 永年の衣裳の製作、ならびに公演における功績に対して。

第19回 平成5年度 (1993)

- ・演劇賞：山本陽子 『おはん』の演技に対して。
- ・演劇賞：中田喜子 『御いのち』のお袖の役の演技に対して。
- ・演劇賞：小鹿 番 『ゆずり葉』の吉兵衛の役の演技に対して。
- ・演劇賞：寺本建雄 『サラリーマンの金メダル』『男のロマン女のフマン』の作曲の成果に対して。
- ・特別賞：小幡欣治 『熊楠の家』の戯曲の成果に対して。
- ・特別賞：『ミス・サイゴン』上演関係者一同。

第20回 平成6年度 (1994)

- ・演劇賞：林 与一 『唐人お吉』の鶴松、『おしの』の青木千之助の役の演技に対して。
- ・演劇賞：大路三千緒 『菊がさね』のお兼、『蔵』の田乃内むらの役の演技に対して。
- ・演劇賞：謝 珠栄 『Yesterday is…here』及び『LAST DANCE』の振付の成果に対して。
- ・演劇賞：荒井洸子 『マイ・フェア・レディ』のピアス夫人、『屋根の上のヴァイオリン弾き』のフルマセーラの役の演技に対して。
- ・特別賞：劇団四季 『キャッツ』をはじめとするミュージカルの公演の成果に対して。

第21回 平成7年度 (1995)

- ・演劇大賞：鳳 蘭 『ラ・マンチャの男』のアルドンサ、『ラヴ』のエレンの役の演技に対して。
- ・演劇賞：南風洋子 『新版 香華』の太郎丸の役の演技に対して。
- ・演劇賞：島田歌穂 『シー・ラヴズ・ミー』のイローナの役の演技に対して。
- ・演劇賞：曾我廼家文童 『駕籠や捕物帳』の後向きの弥太の役の演技に対して。
- ・演劇賞：下村由理恵 『回転木馬』のルイズの役の演技に対して。
- ・特別賞：石濱日出雄 永年の日劇及び宝塚歌劇をはじめとする舞台美術における功績に対して。

第22回 平成8年度 (1996)

- ・演劇大賞：劇団東宝現代劇七十五人の会による『熊楠の家』の上演の成果に対して。
- ・演劇賞：江原真二郎 『晩菊』の板谷の役の演技に対して。
- ・演劇賞：一路真輝 『エリザベート』のトート、『王様と私』のアンナの役の演技に対して。

- ・演劇賞：光本幸子 『明治の雪』の野々宮きく子、『女優』の渡瀬淳子の役の演技に対して。
- ・演劇賞：斎藤 憐 『カナリア 西條八十物語』を通して、昭和という激動の時代を描いた脚本の成果に対して。
- ・特別賞：中村喈夫 永年のミュージカルにおける演出の功績に対して。

第23回 平成9年度 (1997)

- ・演劇大賞：松本幸四郎 『ラ・マンチャの男』上演750回を達成し、上演のたびに見事に磨き上げてゆく演技の成果に対して。
- ・演劇賞：野田秀樹 シアター・コクーン7・8月公演『キル』の作・演出の成果に対して。
- ・演劇賞：富司純子 『祇園の姉妹』の梅吉の役の演技に対して。
- ・演劇賞：淡路恵子 『もず』の一恵の役の演技に対して。
- ・演劇賞：村田美佐子 『ジンジャー・ブレッド・レディ』のエヴィ・ミエラの役の演技に対して。
- ・特別賞：柴田侑宏 永年の宝塚歌劇に対する貢献に対して。

第24回 平成10年度 (1998)

- ・演劇大賞：『ローマの休日』スタッフ・出演者一同 『ローマの休日』の高い舞台成果に対して。
- ・演劇賞：浅丘ルリ子 『にごり江』のおりきの役の演技に対して。
- ・演劇賞：加藤治子 『三婆』の武市タキの役の演技に対して。
- ・演劇賞：沢口靖子 『蔵』の田乃内烈の役の演技に対して。
- ・演劇賞：大川婦久美 『蔵』のおつまの役の演技に対して。
- ・特別賞：鹿賀丈史 『レ・ミゼラブル』の初演以来、舞台の中核として活躍してきた功績に対して。
- ・特別賞：滝田 栄 『レ・ミゼラブル』の初演以来、舞台の中核として活躍してきた功績に対して。

第25回 平成11年度 (1999)

- ・演劇大賞：池内淳子 『月の光』の山上ふじ、『三婆』の武市松子の役の演技に対して。
- ・演劇賞：麻実れい 『二十世紀』のマーガレット・バーク＝ホワイト、『恋の三重奏』のバーバラ、『リトルナイト・ミュージック』のデジレの役の演技に対して。
- ・演劇賞：上條恒彦 『ラ・マンチャの男』の牢名主と宿屋の主人の役の演技に対して。
- ・演劇賞：堀井康明 『月の光』の脚本・演出、『天翔ける虹』の脚本の成果に対して。
- ・演劇賞：竹内幸子 『雪国』の弁慶の役の演技に対して。
- ・特別賞：山内晴雄 永年の舞台照明における功績に対して。

第26回 平成12年度 (2000)

- ・演劇大賞：『エリザベート』スタッフ・出演者一同 『エリザベート』の高い舞台成果に対して。
- ・演劇賞：泉ピン子 『渡る世間は鬼ばかり』の小島五月の役の演技に対して。
- ・演劇賞：渡辺 徹 『功名が辻ー山内一豊の妻ー』の山内一豊、『あかきたな』の大森鉄平の役の演技に対して。
- ・演劇賞：寺島しのぶ 『ピカドン・キジムナー』の秀子、『グリークス』のエレクトラの役の演技に

対して。

- ・演劇賞：下山田ひろの 『熊楠の家』の松枝の役の演技に対して。
- ・特別賞：春日野八千代 永年の宝塚歌劇・日本舞踊への貢献に対して。
- ・特別賞：松本悠里 永年の宝塚歌劇・日本舞踊への貢献に対して。

第27回 平成13年度 (2001)

- ・演劇大賞：十朱幸代 『悪女について』の富小路公子、『マディソン郡の橋』のフランチェスカの役の演技に対して。
- ・演劇賞：杉浦直樹 『あ・うん』の門倉修造の役の演技に対して。
- ・演劇賞：斉藤由貴 『空のかあさま』の金子みすゞの役の演技に対して。
- ・演劇賞：坂口良子 『質屋の女房』の田島蔦代の役の演技に対して。
- ・演劇賞：大塚道子 『放浪記』の林きし、『いのち燃ゆるときー開化のおんなたちー』永井志津の役の演技に対して。
- ・特別賞：植田紳爾 宝塚歌劇を二十一世紀に向けて大きく発展させた功績に対して。
- ・特別賞：藤岡琢也 永年の舞台の功績に対して。

第28回 平成14年度 (2002)

- ・演劇大賞：『モーツァルト！』スタッフ・出演者一同 『モーツァルト！』の高い舞台成果に対して。
- ・演劇賞：北大路欣也 『佐渡島他吉の生涯』の佐渡島他吉の役の演技に対して。
- ・演劇賞：山田和也 『チャーリー・ガール』『ジキル&ハイド』『ミー&マイガール』の演出の効果に対して。
- ・演劇賞：星由里子 『佐渡島他吉の生涯』のおとらの役の演技に対して。
- ・演劇賞：轟 悠 『風と共に去りぬ』のレット・バトラーの役の演技に対して。
- ・特別賞：ジャニー喜多川 永年のショービジネスに対する多大な情熱と功績に対して。

第29回 平成15年度 (2003)

- ・演劇大賞：山口祐一郎 『エリザベート』のトート、『レ・ミゼラブル』のジャン・バルジャンの役の演技に対して。
- ・演劇賞：松平 健 『用心棒』の桑畑三十郎の役の演技に対して。
- ・演劇賞：高畑淳子 『越路吹雪物語』の岩谷時子の役の演技に対して。
- ・演劇賞：藤真利子 『プワゾンの匂う女』の石井由梨の役の演技に対して。
- ・演劇賞：和央ようか 『BOXMAN』におけるケビンとドリーの見事なコンビに対して。
- ・演劇賞：花總まり 『BOXMAN』におけるケビンとドリーの見事なコンビに対して。
- ・特別賞：森 光子 1700回を超える「放浪記」の輝かしい舞台の成果に対して。

第30回 平成16年度 (2004)

- ・演劇大賞：『ミス・サイゴン』スタッフ・出演者一同 『ミス・サイゴン』の高い舞台成果に対して。
- ・演劇賞：段田安則 『おもろい女』の玉松一郎、『幻に心もそぞろ狂おしのわれら将門』の三郎の

・演劇賞：大浦みずき

役の演技に対して。

『ナイン』のリリアン・ラ・フルール、『NEVER GONNA DANCE』のメイベル・プリットの役の演技に対して。

・演劇賞：永吉京子

『細雪』のお春、『三婆』の花子の役の演技に対して。

・特別賞：橋田壽賀子

芸術座の歴史において一ジャンルを築き上げた優れた創作活動の成果に対して。

・特別賞：石井ふく子

芸術座の歴史において一ジャンルを築き上げた優れた創作活動の成果に対して。

第31回 平成17年度 (2005)

・演劇大賞：鹿賀丈史

『ジキル&ハイド』のヘンリー・ジキルとエドワード・ハイド、『レ・ミゼラブル』のジャベール役の演技に対して。

・演劇賞：内野聖陽

『ベガーズ・オペラ』のマクヒース、『エリザベート』のトートの役の演技に対して。

・演劇賞：マルシア

『ジキル&ハイド』のルーシー・ハリスの役の演技に対して。

・演劇賞：新妻聖子

『サド侯爵夫人』のルネ、『21C：マドモアゼル・モーツァルト』のモーツァルトとエリーザの役の演技に対して。

・演劇賞：浦井健治

『アルジャーノンに花束を』のチャーリィ・ゴードン、『マイ・フェア・レディ』のフレディの役の演技に対して。

・特別賞：山口琄也

歌唱指導と音楽監督による永年のミュージカルへの功績に対して。

第32回 平成18年度 (2006)

・演劇賞：大竹しのぶ

『スウィーニー・トッド』のミセス・ラヴェットの役の演技に対して。

・演劇賞：村井国夫

『エリザベート』のマックス、『ミー&マイガール』のジョン卿の役の演技に対して。

・演劇賞：笹本玲奈

『ミー&マイガール』のサリー・スミス、『マリー・アントワネット』のマルグリット・アルノーの役の演技に対して。

・演劇賞：紅 貴代

『鶴八鶴次郎』の鶴子、『華岡青洲の妻』の小陸の役の演技に対して。

・特別賞：吉崎憲治

永年の宝塚歌劇における音楽の功績に対して。

・特別賞：羽山紀代美

永年の宝塚歌劇における振付の功績に対して。

第33回 平成19年度 (2007)

・演劇大賞：『Endless SHOCK』スタッフ・出演者一同

『Endless SHOCK』の高い舞台成果に対して。

・演劇賞：涼風真世

『マリー・アントワネット』のマリー・アントワネット、『イーストウィックの魔女たち』のジェーン・スマート、『モーツァルト！』のヴァルトシュテッテン男爵夫人の役の演技に対して。

・演劇賞：井上芳雄

『モーツァルト！』のヴォルフガング・モーツァルト、『ウェディング・シンガー』のロビー・ハート、『ロマンス』のチャーホフほかの役の演技に対して。

・演劇賞：堀内敬子

『コンフィダント・絆』のルイズ、『恐れを知らぬ川上音二郎一座』の伊東カメ

- ・演劇賞：鈴木裕美 の役の演技に対して。
『宝塚 BOYS』と『ハレルヤ!』の演出の成果に対して。
- ・特別賞：堺 正章 永年の舞台の功績に対して。

第34回 平成20年度 (2008)

- ・演劇大賞：『スカーレット ピンパーネル』スタッフ・出演者一同
『スカーレット ピンパーネル』の高い舞台成果に対して。
- ・演劇賞：保坂知寿 『デュエット』のソニア・ワルスク、『スーザンを探して』のロバータの役の演技に対して。
- ・演劇賞：シルビア・グラブ 『レベッカ』のダンヴァース夫人の役の演技に対して。
- ・演劇賞：吉野圭吾 『宝塚 BOYS』の星野丈治、『傾く首～モディリアーニの折れた絵筆～』のアメディオ・モディリアーニの役の演技に対して。
- ・演劇賞：玉野和紀 『THE TAP GUY』の脚本・演出・振付の成果に対して。
- ・特別賞：ジョン・ケアード 永年の日本演劇に対する貢献に対して。